

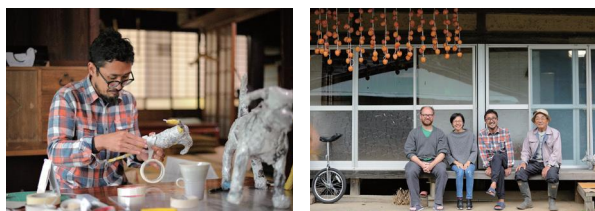
北茨城から 「生きる芸術」を発信する



Profile

石渡のりおさん 芸術家

夫婦で結成したアートユニット「檻之汰鷺(おりのたわし)」のリーダー。紙を切って貼るコラージュ技法を発展させた作品を制作。海外で作品を発表した後、日本国内の空き家を転々とし、日本人の暮らしを調査。空き家や古民家の再生も手掛けている。現在、北茨城市を拠点に「生きる芸術」をテーマに活動中。



北茨城に住みながら、芸術で食べ続けていきたい

僕はここに来て自然がすごく好きになったので、これからずっと自然をモチーフにした絵を描いていきたいです。自然をなにか別のものに変えていくのがアートの原点だと思いますし。そのためにはまず、「マーケット」を作るのが課題です。芸術も野菜と同じように、流通の仕組みを作って必要としているところに届けて商売していく。芸術を生活と切り離すのではなく、「売る」という行為で生活の延長線上に置いていけたらなと思っています。

震災をきっかけに会社員から“引退”

結婚当初、二人とも平日は他の仕事をしながら週末に作品を作るという生活をしていました。そんな時に東日本大震災が起きたんです。被災地の様子を目の当たりにしながら東京で暮らしていると、次第に自分の生活にもややとした違和感を覚えるようになりました。週末だけの創作活動を本格的にやりながら、自分の責任の範囲内でもっと取捨選択して生きていけば、より自分自身が納得できる生活ができるのではないかと。災害で世の中が壊れてしまうこともあるのだから、やりたいようにやるのも選択肢のひとつじゃないかという結論に達し、会社を辞めることにしました。

不便さはクリエイティブの力になる

ここは“自分のベース”が作れる場所なんです。誘惑を断ち切って、自分が集中できる時間をちゃんと持つことができます。“モノが手に入りにくい”っていうのも実はメリット。赤色の絵の具がなくてすぐ買えないときは「青でもいいじゃん」って思えるんです。今ある環境にインスパイアされてものを作るのが、僕たちの基本的なスタイルですから。ここに来て創作活動の範囲がすごく広がりましたね。それでもって東京との行き来も負担がない。とてもバランスがいいんです。

子どもたちに 地元の魅力を 広めたい

思い立ったが吉日。北海道から茨城へ

北海道では知人の馬小屋だった建物を借りて工房と窯を作り、趣味で陶芸をしていました。ただある時、「もっと本気で挑戦したい」と思い、その1年後につてをたどって笠間で修業をさせていただくことになりました。「3年やって先生に認められなかったら趣味のままにしよう、そのかわり3年間はがむしゃらに」と決意。その結果、独立することになりました。しかし、笠間にはすでにたくさん作家がいたんです。新しい土地でスタートしたいと思っていた時に、笠間の指導所にたまたま「天心焼の作家求む」という募集を発見。そこで迷いなく移住しました。

“人情村”の暮らしと仕事

ここは“人情村”なんです。集落の方は、わが子のように迎えてくれて、初釜の時には集落の皆さんがお祭りのようにお赤飯を炊いてくれたり、お餅をついてお祝いしてくれました。

仕事面では、移住当初から消防署の出初式の粗品制作や市からもいろんな仕事をもらっていました。北茨城は最近では「期待場」もできて、市民陶芸教室を開く機会も増えています。今は「地域おこし協力隊」もありますし、「天心焼研究会」のチームワークもとてもいいです。もちろん作家として個々で活動はしますが、つながりの中で楽しく活動できると思います。



Profile

會田恵美(あいだえみ)さん 陶芸家

北海道出身。焼き物の販売会社に勤めるかたわら、自ら工房と窯を作り、趣味で陶芸を始める。37歳の時に陶芸家を志し、笠間の窯元で3年間修行。独立後、北茨城市へ移住し、「天心焼研究会」の初期メンバーの一人に。現在はお地蔵さんなどのほっこりした作品の制作を行うほか、市内の学校で講師として陶芸を教えるなど幅広く活動している。



新しい未来をみんなで創る

市内の「郷英高校」で非常勤講師として陶芸の授業を担当させてもらっています。それ以外にも依頼があれば小学校や幼稚園でも教えています。これからも、子どもたちにはもっと地元のものやその魅力を知ってもらいたいです。そういう活動以外にも「桃源郷芸術祭」のように、様々な“体験”ができるイベントもやってみたいですね。アイディアはたくさんあるので、同じ方向を向いて一緒に形にしてくれる人が来てくれるととても嬉しいです。

Pickup

①北茨城市の「地域おこし協力隊」とは？

北茨城市では、「芸術によるまちづくり」の担い手として、アーティスト枠とコーディネーター枠からなる「地域おこし協力隊」を委嘱しています。アーティスト枠は主に創作活動を、コーディネーター枠はアートを活用したイベントの企画・運営を行います。

●募集について

常時募集しているわけではありません。募集対象や人数などについては、市のHPや「ニッポン移住・交流ナビ JOIN」のHPをご確認ください。



JOIN HP

詳しくは p.7 へ

②北茨城市のアート情報はこちら！



KITAIBARAKI ART CITY



③移住を検討するときは、「お試し居住」もチェック！

里山にある一軒家で15日以上3ヶ月以内の居住体験ができます。

●応募条件

北茨城市外在住で、市内への移住を検討されている方

●利用までの流れ

使用申込書の提出 → 審査 → 使用承諾・賃貸借契約 → 「お試し居住」開始！



詳しくは p.11 へ